

下松工業会報

平成24年7月1日 第43号

一般社団法人 下松工業会
〒744-0012 下松市北斗町12番4号
事務局 下松工業同窓会館
TEL (0833) 43-1336
FAX (0833) 41-7448
URL: <http://www.kudakokai.org>
E-mail: kogyokai@triton.ocn.ne.jp



新法人初年度へ向けて

会長 河村 正 浩
(C39)

会員の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、昨年の母校創立90周年に際しましては、皆様方の絶大なるご支援により、予定していた行事や事業を滞りなく推進することができました。特に事業としましては、母校へ図書と楽器を購入し、又、グラウンドの一部整備として合わせて280万円相当を寄贈させて頂き、且つ、下松工業会館の補修をさせて頂きました。厚く御礼申し上げます。又、新法人への移行も4月1日に登記を終えることができました。ご協力頂きました関係者の皆様方に厚く御礼を申し上げます。

いよいよ、公益性をもった法人「一般社団法人下松工業会」としてスタート致します。定款の目的の項は「この法人は、下松工業高等学校における生徒の資質向上及び教育の振興にむけた支援並びに会員相互の交流啓発を図り、工業高校教育の充実発展に寄与する」となりました。以下、これから取り組むべき課題について紹介させて頂きます。

I. 一般社団法人としての基盤の整備

1. 規定集の整備

骨子となる規定集は作成しましたが、細部に到ってはまだ整備されていません。特に事務分掌に関わる規程20数項目についての整備を早急に行う必要があります。

2. 会員の入会促進への取り組み

これまでは卒業生イコール下松工業会会員でしたが、新法人での会員資格は「卒業生のうち、この法人の事業に賛同して入会したもの」と、大きく変わりました。この背景は、総会の成立が、旧定款では、総会は「全会員の20分の1の出席で成立」したのに対し、新定款では「会員の半数以上の出席がなけれ

ば成立しない」ことにあります。現在、住所確認、生存確認の出来ている会員は約10,000名です。この内、ご協力頂いている方は1700名弱です。つまり、この1700名弱が定款上の会員となります。

今、熱心な会員の高齢化、若い同窓生の同窓会離れなどに直面しております。定款の目的にご賛同頂き、1人でも多く入会して頂けるように努めて参りたいと思いますし、皆様方におかれましても、クラス会など、その他あらゆる場を通じ、加入促進にご協力頂きますよう、切にお願い申し上げます。

なお、今後会報の発行は、法人会員向けと全同窓生向けの2回とします。

II. 積極なる活動の展開へ向けて

1. 地域、企業懇談会としての支部の充実

現在、54の支部が登録されていますが、実際に活動しているのは16支部です。活動の停滞している支部への働きかけは勿論ですが、今年度からは特に地域支部の充実発展に傾注し、企業（支部）退職者の地域支部への加入促進を積極的に行います。また、支部間の交流促進や新支部の発足についても取り組みたいと思います。

2. 対外的PR活動へ向けての取り組み

これまでの活動は内（会員と母校）へ向けての活動でしたが、今後は対外的な活動の展開も必要かと考えます。当面は下松市を対象とし、商工会議所への加入、市や地域で行われる諸行事への参加などに向けての調査・研究を開始します。対外的な活動をすることで、同窓生の関心がより高まるのではないかと期待しております。

III. 母校創立100周年に向けての基本計画の策定

平成33年には母校の創立100周年という大きな節目を迎えます。これに向けての基本計画を策定し、スムーズな対応がとれるよう準備を進めて参ります。

最後に、今後とも変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げますと共に、会員の皆様方の更なるご健勝とご多幸をお祈りいたし挨拶とさせて頂きます。



本校が目指す教育

校長 村 中 一 雄

一般社団法人下松工業会の皆様方には、本校教育の推進に御協力を賜り、感謝申し上げます。とりわけ、この度は新法人移行に伴い、下松工業会は「下松工業高校における生徒の資質向上及び教育の振興に向けた支援を行うことを目的とする」ということで、本校生徒への育英奨学金の交付をはじめ、部活動の活動費等に多大な支援をいただいております。この紙面を借りて、重ねてお礼申し上げます。

今年の3月には全日・定時合わせて155人の生徒が卒業し、同窓会の一員とさせていただきました。これまでに、同窓生の皆様方が様々な分野で活躍されておられ、新たに会員が増え益々同窓会が発展するものと考えています。

さて、私は43年前の昭和44年4月に本校の機械科に入学しました。3年生の時に創立50周年という大きな節目を迎え、完成して間もない体育館で記念式典が行われたのを記憶しています。在学当時の伊藤豊校長は常々、下松工業は中堅技術者を育成することを目指している学校であるといっておられました。そのことが今でも鮮明に記憶に残っています。

ところで、現在は経済のグローバル化や国際競争の激化、産業構造の変化、情報化等に伴う産業社会の高度化、就業構造の変化等により、以前より大きく様変わりしています。こうした中、今本校をはじめとして専門高校に求められているものは「将来のスペシャリストの育成」「将来の地域産業を担う人材の育成」「人間性豊かな職業人の育成」の3点です。このことを踏まえ、私としては次のことを念頭におきながら、教育活動に取り組んでまいりたいと考えています。

まず、「将来のスペシャリストの育成」については、工業技術の高度化、急激な技術革新に対応するため、高校時代の3年間で専門分野に関する基礎的な知識や技術に加え、実践力、課題解決力等の育成が求められています。このため、座学や実験、実習をとおして分かる授業を進めることにより、基礎基本を確実に身につけさせるとともに、生徒が資格取得や検定試験、ものづくりコンテストなどに積

極的にチャレンジすることにより、ものづくり教育の充実に努め、卒業後に産業界で活躍できる人材を育成したいと考えています。

次に、「将来の地域産業を担う人材の育成」については、若年就労者の減少、若者のものづくり離れが進む中、ものづくりを中心とした我が国において、地域産業を支える専門高校への期待が高まっています。このため、地元企業や地域の人たちとの連携を図り、就業体験実習やボランティア活動をとおして、コミュニケーション能力や実践力を身につけさせるとともに、地域の特色や環境を生かしたものづくりを学ぶことにより、地域社会への理解を深めさせたいと考えています。

3つ目の「人間性豊かな職業人の育成」については、少子高齢社会や環境問題の深刻化に加え、若者の生活感の希薄化が指摘される中、人や自然、ものと深く関わる職業教育の特長を生かした、心の教育への期待が高まっています。このため、日常の学校生活の中で、挨拶がきちんとできる、遅刻をしないなどの基本的な生活習慣の確立、社会や学校のルールを守るといった規範意識の醸成を図るとともに、他の人を思いやる豊かな心を育んでいきたいと考えています。

こういったことを着実に進めながら、下松工業高校が中学生やその保護者にとって「行きたい学校」であること。企業の採用担当者にとって「生徒を採用したい学校」であること。そして、下工生にとって「自信と誇りの持てる学校」であることを目指して行きたいと考えています。

卒業生の一人として、本校が大正10年に、県内で初めて県立の工業学校として創立され、山口県の工業教育の牽引役として、歴史と伝統を引き継いできた、卒業生の熱い思いを生徒に伝えていきたいと考えています。昨年創立90周年をむかえ、下松工業会が中心となって記念祝賀会や講演会が開催されました。これからは10年後の創立100周年という大きな節目の時に向けて、教職員、生徒が一丸となって、新たな歴史と伝統を築いていく所存です。このためにも、これまで以上に下松工業会と学校が連携して取り組まなければなりません。引き続き御指導、御支援をお願い申し上げます。

最後に、一般社団法人下松工業会の御発展並びに皆様方のさらなる御健勝、御活躍を祈念し、御挨拶とさせていただきます。

平成24年度定時総会報告書

定時総会

1. 開催の日時及び場所

平成24年5月19日(土) 13時～14時

下松市大字西豊井1247番地 (下松駅南)

きらぼし館 (きらぼしホール)

2. 会員の現在数 1,700人

出席会員数 1,656人

うち出席者 87人

書面議決者 1,569人

3. 議 事

1号議案 平成23年度 事業報告

2号議案 平成23年度 決算報告並びに監査報告

3号議案 平成24年度 事業計画(案)

4号議案 平成24年度 予算(案)

5号議案 役員改選について

6号議案 委嘱について

4. 総会の経過

1) 議長は出席会員の中から森藤徹彦氏(工業化学科 昭和56年卒)が選出された。

2) 議事録署名人並びに書記指名 森藤議長は、定款16条により下記の者を指名した。

議事録署名人は今総会より議長と出席理事の記名押印となります。

書 記 工業技術科 昭和43年卒 渡邊 孝之

3) 議事の経過の概要

1号議案と2号議案は関連するので、一括提案。蔵田幸男監事が報告し満場一致をもって承認可決された。

3号議案と4号議案も一括して提案の上満場一致をもって原案どおり承認可決された。

5号議案(役員改選)及び、6号議案(委嘱)について、関連が有るので、一括提案が河村会長より、説明があり、議長は可否を諮ったところ、原案どおり承認可決された。



「講演」講師：青木義雄 (M57)

記念講演

総会に引き続き、青木義雄氏(M57)が、「ふぐと日本史」と題して記念講演を行った。青木氏は周南市のご出身で母校卒業後徳山大学に入学され、社会経験され、現在青木ふぐ店の副社長として、活躍中、幼い時から、魚とのご縁があり、講話に実感こもった、お話頂き、普段聞くことのできない大変興味深い講演でした。参加者一同熱心に聴講された。

1号議案 平成23年度事業報告

1. 主要事業

(1) 組織の充実と強化

- ・ 定時総会開催
(5月21日 145名、きらぼし館)
- ・ 支部総会への出席 (14支部)
- ・ 拡大役員会の開催 (5月、34名。12月、28名)
- ・ 平成23年度入会式 (155名) 及び下松工業
会会長賞授与式 (2月29日)
- ・ 新学年幹事との懇談会 (8名、2月29日)

(2) 広報活動

- ・ 会報No42号発行 (7月12日 10,645名)
- ・ ホームページの充実

(3) 文化、レクリエーション活動

- ・ 定時総会で講演会の実施：
「走る苦しみと学びの喜びを味わう」
中谷 康史 (M42)
- ・ 麻雀大会 (24名、2月5日)
- ・ 親睦ボウリング大会 (49名、3月6日) の実施

(4) 調査研究委員会の開催

- ・ 母校創立90周年募金活動の目標達成へ向け
ての取り組み／目標達成

(5) 母校支援事業

- ・ 育英奨学金の交付 (6名)
- ・ 文化体育活動助成金の交付 (20万円 2件)

(6) 公益法人制度改革の推進と移行申請

- ・ 推進委員会の開催 (2回)
- ・ 一般社団法人移行電子申請 (11月1日)
同答申 (11月29日)
- ・ 支部特別説明会 (2月13日 15支部)
- ・ 移行登記 平成24年4月1日

(7) 母校創立90周年記念事業の推進

- ・ 記念式典 (11月18日)
- ・ 母校への記念事業目録贈呈
(楽器・図書・グランド整備：280万円)
- ・ 記念ゴルフ大会 (11月28日 75名)
- ・ 記念祝賀会 (11月26日 185名)
- ・ 会報90周年記念特別号の発行 (1月)
- ・ 記念講演会の開催 (平成24年3月27日
550名 スターピアくだまつ)
「宇宙飛行士訓練～壁にぶつかったとき～」
- ・ 下松工業会館の修復

2号議案 平成23年度決算報告並びに監査報告

貸借対照表 平成24年3月31日

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	0	0	0
普通預金	4,152,366	3,808,047	344,319
90周年記念基金	2,517,092	6,301,197	△3,784,105
未収金	0	0	0
流動資産合計	6,669,458	10,109,244	△3,439,786
2 固定資産			
(1) 基本財産			
大和証券公社債	9,500,000	9,500,000	0
野村証券公社債	7,200,000	7,200,000	0
基本財産合計	16,700,000	16,700,000	0
(2) 特定資産	0	0	0
退職給与引当資産	0	0	0
特定資産合計			
(3) その他の固定資産			
建物	1,410,049	1,410,049	0
建物修復工事	1,407,000	0	1,407,000
空調設備	405,965	462,365	△56,400
工具器具備品	101,613	207,613	△106,000
土地	18,544,252	18,544,252	0
その他の固定資産合計	21,868,879	20,624,279	1,244,600
固定資産合計	38,568,879	37,324,279	1,244,600
資産合計	45,238,337	47,433,523	△2,195,186
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	0	0	0
流動資産合計	0	0	0
2 固定負債			
退職給付引当金	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負債合計			
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	16,700,000	16,700,000	0
(うち基本財産への充当額)	16,700,000	16,700,000	0
(うち特定財産への充当額)	0	0	0
2 一般正味財産			
一般正味財産合計	28,538,337	30,733,523	△2,195,186
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定財産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	45,238,337	47,433,523	△2,195,186
負債及び正味財産合計	45,238,337	47,433,523	△2,195,186

監査報告

平成23年度社団法人下松工業会会計、基金会計、90周年記念基金について関係帳簿及び証拠書類を照合した結果、正確かつ適正であることを認めます。

平成24年4月9日

社団法人下松工業会 監事 西林伸治
監事 濱谷和昌
監事 蔵田幸男

3号議案 平成24年度事業計画

1. 組織の充実と強化

- ・ 定時総会の開催（5月19日 きらぼし館）
- ・ 地域・企業懇談会（旧支部総会）への出席
- ・ 地域代表者・企業代表者との懇談会の開催（旧拡大役員会 2回／年）
- ・ 平成24年度入会式及び下松工業会会長賞授与式
- ・ 新学年幹事との懇談会
- ・ 地域懇談会（支部）充実と拡大への取り組み
- ・ 母校文化祭への参加（11月17日）

2. 広報活動の推進

- ・ 会報43号の発行（平成24年7月 会員向け）
- ・ 会報44号の発行（平成25年1月 全同窓生向け）
- ・ ホームページの更新と充実

3. 文化、レクリエーション活動

- ・ 講演会（5月19日 定時総会）
「ふぐと日本史」 青木 義雄 先生（M57）
- ・ 七彩会ゴルフ大会（10月）親睦麻雀大会（2月）
親睦ボウリング大会（3月）

4. 調査研究委員会

- ・ 母校創立100周年記念事業へ向けて基本計画の策定
- ・ 会員加入促進へ向けての対策
- ・ 対外的PR活動へ向けての研究

5. 母校生徒支援事業

- ・ 育英奨学金事業（9名）
- ・ 文化体育活動支援事業助成金の交付

6. 一般社団法人としての体制充実整備

- ・ 事務分掌規程に関わる規程集の整備



4号議案 平成24年度予算

収支予算書

（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

（単位：円）

科 目	当年予算額	前年予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	50,000	100,000	△50,000
基本財産受取利息	50,000	100,000	△50,000
事業収益	3,721,100	4,383,550	△662,450
交流会会費	369,500	369,500	0
会館使用料収益	800,000	900,000	△100,000
会館貸料収益	1,851,600	1,851,600	0
その他収益	700,000	1,262,450	△562,450
受取会費	2,050,000	2,220,000	△170,000
受取年会費	1,600,000	1,700,000	△100,000
受取特別会費	450,000	520,000	△70,000
受取入会金	800,000	805,000	△5,000
受取入会金	800,000	805,000	△5,000
受取補助金等	0	0	0
受取補助金	0	0	0
受取寄附金	0	0	0
90周年記念基金収益	0	1,700,000	△1,700,000
雑収益	10,000	40,000	△30,000
受取利息	10,000	40,000	△30,000
有価証券運用益	0	0	0
雑収益	0	0	0
経常収益計	6,631,100	9,248,550	△2,617,450
(2) 経常費用			
事業費：会館運営費	3,845,792	12,744,946	△8,899,154
給料手当	1,260,000	1,400,000	△140,000
臨時雇用賃金	0	0	0
共済費	21,232	30,000	△8,768
通信運搬費（電話料）	170,000	170,000	0
光熱水料費（電気料）	262,500	300,000	△37,500
光熱水料費（上下水道）	26,250	30,000	△3,750
光熱水料費（ガス料）	17,500	20,000	△2,500
消耗品費（需用費・事務費・行事費）	456,835	4,447,546	△3,990,711
食糧費	0	0	0
営繕費	175,000	2,700,000	△2,525,000
保険料	39,375	45,000	△5,625
諸謝金	0	0	0
公租公課	332,500	380,000	△47,500
文化体育活動事業助成金	200,000	2,700,000	△2,500,000
育英奨学金	540,000	360,000	180,000
雑費	0	0	0
委託料	0	0	0
減価償却費	344,600	162,400	182,200
管理費：会務運営費	2,953,422	2,915,000	38,422
給料手当	610,000	470,000	140,000
共済費	8,768	0	8,768
会議費	150,000	150,000	0
慶弔費	185,000	185,000	0
保険料	5,625	0	5,625
旅費交通費	180,000	180,000	0
通信運搬費	850,000	750,000	100,000
光熱水料費（電気料）	37,500	0	37,500
光熱水料費（上下水道）	3,750	0	3,750
光熱水料費（ガス料）	2,500	0	2,500
減価償却費	24,614	0	24,614
消耗品費（需用費・事務費・行事費）	143,165	0	143,165
移行事業費	0	500,000	△500,000
印刷製本費（会報費）	500,000	500,000	0
営繕費	25,000	0	25,000
表彰費	20,000	20,000	0
記念品料	50,000	50,000	0
委託料	110,000	110,000	0
公租公課	47,500	0	47,500
経常経費計	6,799,214	15,659,946	△8,860,732
評価損益等調整前当期経常増減額	△168,114	△6,411,396	6,243,282
基本財産評価損等	0	0	0
特定資産評価損等	0	0	0
投資有価証券評価損等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△168,114	△6,411,396	6,243,282
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
投資有価証券売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△168,114	△6,411,396	6,243,282
一般正味財産期首残高	28,538,337	30,733,523	△2,195,186
一般正味財産期末残高	28,370,223	24,322,127	4,048,096
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	0	0	0
受取国庫補助金	0	0	0
一般正味財産への振替	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	16,700,000	16,700,000	0
指定正味財産期末残高	16,700,000	16,700,000	0
III 正味財産期末残高	45,070,223	41,022,127	4,048,096

新役員紹介



会長
C39 河村 正浩



副会長
E38 早川 昭男



副会長
E49 内山 和美
(新任)



専務理事
M35 植尾 博之



理事
C40 栗田 一郎



理事
M48 徳原 英昭



理事
C39 藤田 文明



理事
M44 岩村 修



理事
E47 石井 道明



理事
C41 佃 俊之



理事
M54 中村 明夫
(新任)



理事
C42 国弘 成文
(新任)



監事
C36 濱谷 和昌



監事
M44 蔵田 幸男



監事
T41 山本 一夫
(新任)

下松工業高等学校 創立九十周年記念講演会報告

▼日 時 3月27日(火)

▼場 所 スターピアくだまつ 大ホール

▼講 師 JAXA/NASA

宇宙飛行士

金 井 宣 茂 氏

《宇宙飛行士訓練

～壁にぶつかったとき～》

という、演題で開催された。

当初、創立記念日である10月中旬を計画していたが、山口県での国体開催、及び、講演依頼先のJAXAの都合で3月末の開催となった。

卒業生は赴任直前、在校生は部活等で時間がとりにくい状況であったが、母校の全面的な協力、近隣小中高各校の生徒、市民の希望者の参加で600名弱の来場者があった。

若い清新な宇宙飛行士の貴重な訓練体験談は、児童、生徒それぞれの心にしっかりと受け止められたものと思われる。母校をはじめ、多くの方々のご協力に感謝いたします。



支部総会開催報告

平成23年4月～平成24年3月

- ・ 4 / 22 日立笠戸支部
吉松支部長含む 40名
(下松工業会館)
- ・ 5 / 13 (株)トクヤマ支部
河野谷支部長含む 30名
(徳山健保会館)
- ・ 5 / 23 東洋銅板支部
広澤支部長含む 40名
(健保会館)
- ・ 6 / 11 周南支部
山本支部長含む 28名
(ザ・グラマシー)
- ・ 6 / 17 下松支部
弘実支部長含む 27名
(下松工業会館)
- ・ 6 / 22 日石OB会
山本支部長含む 17名
(下松工業会館)
- ・ 7 / 2 光支部
林支部長含む 46名
(松原屋)
- ・ 7 / 17 熊毛支部
徳永支部長含む 17名
(勝間ふれあいセンター)
- ・ 10 / 25 広島支部
江村支部長含む 9名
(ひろ里)
- ・ 11 / 27 東京支部
岡野支部長含む 25名
(東海大学学友館)
- ・ 12 / 3 岩国支部
古本支部長含む 13名
(開花亭)
- ・ 12 / 3 大島支部
川端支部長含む 9名
(ベルゼ)
- ・ 1 / 20 下松市役所支部
井内支部長含む 17名
(下松工業会館)
- ・ 2 / 25 柳井支部
藤沢支部長含む 40名
(ベルゼ)



＝平成24年5月19日＝



母校吹奏楽部



下松市長祝辞：井川成正殿



会長挨拶：河村正浩氏



母校吹奏楽部



母校校長挨拶：村中一雄先生



総会成立宣言：専務理事 槌尾博之氏



新役員代表 河村会長挨拶



受 付



学年幹事挨拶：荻原晃氏



母校・下松工業会の沿革放映

懇親会スナップ



母 校 だ よ り

【全日制】

昨年度は下松工業高校創立90周年の記念の年として、式典や記念講演会の実施等、同窓会の皆様には、忙しく活動された年で、いろいろと御苦労が多かったことと思います。また、記念事業として、グラウンドの整備、楽器や図書の寄贈等をいただくとともに、多くの方に、諸行事にご参加をいただきました。感謝しております。

23年度末の異動により、15名の教職員が転出入しました。また、4月9日には160名の新入生を迎えることができました。

学校運営面においては、ひきつづき学校評価（自己評価、生徒や保護者による外部評価、生徒による授業評価）を実施しています。19年度より学校の目標及び到達状況、課題等を示した学校自己評価書を作成しています。その中で学校評議員5名と保護者代表3名を加えた8名の学校関係者評価委員会にこの学校評価書を提示し、評価を頂きました。この会の委員長を、河村同窓会長にお引き受け頂いております。また、2名の同窓会員の方に学校評議員として、ご協力を頂き、多くの貴重なご意見を伺いました。今年度の学校教育の改善に繋げ、さらに伝統ある質の高い下松工業高校の教育を目指していきたいと思っています。

自己評価書の内容につきましては学校のホームページに掲載しています。多くの同窓生の厳しく、温かいご意見をお寄せ頂ければと願っております。

学習面においては、基礎学力を補うためのステップテストの実施や技能検定、危険物取扱者乙種等の各種資格検定に臨み、50名以上の生徒が卒業時に山口県高等学校等職業教育技術顕彰やジュニアマイスター顕彰を受けることができました。また、高校生ものづくりコンテスト山口県大会においては、化学分析部門は第1位、第3位、中国大会第2位、電子回路組立部門は第2位、中国大会第5位、溶接競技部門第3位でした。惜しくも、全国大会出場はなりませんでした。

昨年度から1年生全員に4日間のインターンシッ

プを実施しました。多くの事業所のご協力をいただき、就労体験によるキャリア教育の推進に成果をあげることができました。同窓生の皆様のご協力に、感謝しております。今年度も、同様に実施する予定です。よろしくお願いいたします。

部活動における、昨年度の結果は表の通りです。運動部では剣道部、弓道部の国体優勝。ハンドボール部の国体準優勝、高校総体第3位、剣道部の高校総体団体個人出場、全国選抜大会出場、登山部の高校総体第8位などの成果を上げることができました。現在、各部とも5月下旬から始まる県高校総体に向けて一層の練習に励んでいるところです。すでにハンドボール部、剣道部、弓道部は中国大会出場を決めています。また、文化部ではロボット研究部が山口県ロボット競技大会で第5位となり、全国大会に出場しました。全国大会では第13位でした。

今年度も各種目、全国で上位入賞してくれることを願っております。

【進路状況】

今春卒業した生徒の進路状況は下記の表の通りです。世界的な金融問題や東日本大震災の影響を抜け出せず、求人数は376人、求人倍率3.0倍という厳しい状況になりました。就職者数は全体の87%、その8割以上が県内企業に就職することができました。このことは同窓生、諸先輩のこれまでのご活躍、ご努力のお陰と、心より感謝いたしております。また学校においては進路指導の一環として先輩による講演会を実施しました。同窓の方々の貴重な体験や講話を伺うことのできる事業を行い、生徒にとって大変ためになる機会となりました。今年も実施を計画していますので、その折りは宜しくお願い致します。

最後になりましたが、世界に挑戦する工業技術者の育成を目標に努力していきます。学習においては、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得、生徒指導面においては、自尊と惻隱の心の育成に重点を置いた指導を行いたいと思っております。今後とも皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

部活動及びものづくりコンテスト等の主な成績
(平成23年4月～平成24年3月)

【部活動】	
〈運動部〉	☆ハンドボール部 (高校総体第3位、国民体育大会準優勝、全国選抜大会出場)
	☆剣道部 (高校総体団体個人出場、国民体育大会優勝、全国選抜大会出場)
	☆弓道部 (国民体育大会優勝)
	☆登山部 (高校総体第8位)
	中国大会 ☆ハンドボール部 (優勝)
	☆弓道部 (男子団体、個人出場)
	☆剣道部 (団体2位、個人優勝)
	☆登山部 (第3位)
	☆ソフトテニス部 (男子団体、個人出場)
	☆陸上競技部 (やり投げ出場)
	☆水泳部 (個人出場)
〈文化部〉 ☆ロボット研究部 (全国高校ロボット競技大会第13位)	
【ものづくりコンテスト等】	
◎化学分析部門 (化学工業科出場) 県大会1, 3位、中国大会2位	
◎電子回路組立部門 (情報電子科出場) 県大会2位、中国大会5位	
◎溶接競技部門 (システム機械科出場) 県大会3位	

進路状況 (平成24年3月卒)

区 別	システム機械	電子機械	情報電子	化学工業	合 計	%
卒 業 者	36	37	38	39	150	
進 学	大 学	3	3	4	2	12
	短大・高専	0	1	0	0	1
	専門学校等	0	2	4	1	7
	その他	0	0	0	0	0
	合 計	3	6	8	3	20
就 職	企 業	32	30	29	35	126
	自己公務員等	1	1	1	1	4
	合 計	33	31	30	36	130
他	その他未定	0	0	0	0	0

【定時制】

定時制の部活動 健闘光る！

＜昨年の全国大会県予選の結果＞

柔道部は、全国大会出場へ

平成23年6月に行われた定時制通信制の全国大会

山口県予選会で、本校の各部が大活躍しました。

軟式野球部は、県予選で下関工業に3対6で健闘及ばず、中国大会出場は叶いませんでした。悔しい思いは平成24年度に託しますが、日頃の限られた練習の成果を存分に発揮した試合展開でした。卓球部は男女とも個人戦ベスト8までがんばりました。柔道部は、男女個人の軽量級・中量級・無差別級で2位・3位と健闘しました。男子団体として2名が、山口県予選会を勝ち抜き、全国大会の切符を手にしたが、2回戦で北海道に惜敗しました。

今年も、各部とも全国大会での活躍を目指して練習に余念がありません。皆様方からの御支援・御声援を賜りますようお願いいたします。

＜今年の全国大会県予選の日程等＞

日時 平成24年6月9日(土) 9:30～

会場 山口高等学校、やまぐちリフレッシュパーク

種目 軟式野球、柔道、卓球

＜笠戸島マリニイカダレース・デザイン部門で優勝！＞

平成22年8月29日に開催された笠戸島マリニイカダレースでは、「下工弁慶号Ⅵ」と命名された本校定時制のイカダが、デザイン部門の60チーム中で、見事に優勝しました。NHK大河ドラマ「龍馬伝」を題材に、テーマを「下工龍馬伝」として4年生の課題研究の成果を発表したものです。平成23年度は東日本大震災に伴い、大会が中止となったため、今年度は更に完成度を高めた作品づくりに努め、連覇を目指して取り組んでいます。なお、中止で出場できなかった平成23年度卒業生の中に、聴講生としてイカダづくりに取り組んでいる方もいらっしゃいます。

＜進路状況＞

今春の卒業生は5名。全員が就職で、進学者はいませんでした。

県内製造業等	県内運輸業	進学	卒業生の総数
4名	1名	0名	5名

製造業・運輸業に就職した5名については、本校で4年間にわたって学んだ工業に関する知識と技能を生かしながら、社会人として大いに活躍してくれるものと期待しています。

＜生徒の状況＞

今年度は、生徒数28名(うち女子3名)でスタートしました。学校全体の雰囲気としては、以前にも増して落ち着きをもって学習活動、部活動等に取り組んでおり、資格取得等にも果敢にチャレンジしています。昨年度の危険物取扱者試験(乙4)には、10名受験中、4名が合格しました。

【生徒の在籍数】

(H24.4.1時点)

1年	2年	3年	4年	計
5名(2)	7名(0)	10名(1)	6名(0)	28名(3)

() 数は女子生徒数

運営基金御礼

下記の方々より、ご協力を頂きました。心より厚く御礼申し上げます。この募金は引き続き募集いたしますので、何卒、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

平成23年4月1日～平成24年3月31日

卒年	氏 名	寄附額	卒年	氏 名	寄附額	卒年	氏 名	寄附額	卒年	氏 名	寄附額
M9	中屋 正仁	2000	M27	大木 満	1000	M33	棟居 長年	1000	M37	石田 幸宣	1000
M12	有間 緑	4000	M27	山時 英男	1000	M33	長谷川 春雄	1000	M37	福田 忠義	1000
M14	宝迫 一郎	2000	M27	相本 晴信	1000	M33	山本 昌之	1000	M37	河本 信幸	1000
M16	藤田 恵	1000	M27	笠原 栄二	1000	M33	吉永 俊明	1000	M38	藤田 輝彦	1000
M16	中岡 浩史	1000	M27	浅本 宣之	1000	M33	河野 清	1000	M38	池永 文人	1000
M16	吉水 悦治	1000	M27	原田 哲次	1000	M33	原田 純	1000	M38	西村 忠夫	1000
M17	西本 孝美	1000	M27	林 一成	1000	M33	兼清 昇	1000	M38	山岡 弘幸	1000
M17	戸村 勝信	2000	M27	原田 二郎	2000	M33	田中 英雄	1000	M38	木村 嗣生	1000
M17	石原 佳雄	10000	M27	有田 優	5000	M33	広戸 一見	2000	M38	宝島 勝興	1000
M18	原田 務	1000	M28	戸田 修薄	1000	M34	有田 檀二	1000	M38	筒井 征史	1000
M18	西本 六夫	1000	M28	宇田 利男	1000	M34	廣永 龍男	1000	M38	横田 晴雄	1000
M18	河村 弘	1000	M28	矢野 英晴	1000	M34	山中 友義	1000	M38	弘中 勝利	1000
M18	松原 進	2000	M28	藤元 正俊	1000	M34	石川 和男	1000	M38	山本 秀明	1000
M19	平岡孝次郎	1000	M28	国重 保之	1000	M34	田中 武司	1000	M38	河元 俊明	1000
M20	加藤 清彦	1000	M28	内山 忠雄	1000	M34	久保田浩文	1000	M38	守田 照正	1000
M20	益田弘三郎	1000	M28	大川 洵	1000	M34	宮川 豊	1000	M38	杉原 光夫	1000
M20	岡本 和心	1000	M28	島田 昭治	1000	M34	瀬戸 浩	1000	M39	道源 勝人	1000
M20	内山 猛	1000	M28	橋本 育茲	1000	M34	田村 頼利	1000	M39	小泉 宏	1000
M20	小田尾政人	1000	M28	戸村 武	1000	M34	上野 稔	1000	M40	山本 勝一	1000
M20	吉武 繁夫	1000	M29	渡辺 圭二	1000	M34	佐々木勝紀	1000	M40	時繁 浩治	1000
M20	土網 勇	2000	M29	足立 元	1000	M34	山本 和昭	1000	M40	中村 丈夫	1000
M21	嶋田 隆雄	1000	M29	中野 政次	1000	M34	家永 晴夫	1000	M40	開作 君夫	1000
M23	近棟 昭久	1000	M29	片山 忠義	1000	M34	池本 幸一	1000	M40	山本 敏夫	2000
M23	須磨 祐一	1000	M29	松本 正	1000	M34	玉木 武人	1000	M41	神田 佳郎	1000
M23	厚井 正毅	1000	M29	松本 照明	1000	M34	西村 清	3000	M41	石崎 昭	1000
M23	清水 修	1000	M29	井内 昭	1000	M35	波多野 智	1000	M41	山本 金生	1000
M23	藤原 肇	1000	M30	山根 義則	1000	M35	安田 努	1000	M41	船本 秀幸	1000
M23	徳本 儀一	1000	M30	米田 嘉一	1000	M35	三秋寿見郎	1000	M41	白井 春好	1000
M23	武居 恒夫	1000	M30	山村 茂晴	1000	M35	大窪 博明	1000	M41	守田 達夫	1000
M23	武居 博	1000	M30	藤井 啓史	1000	M35	海野 征夫	1000	M41	中原 等	1000
M23	須郷 均二	1000	M30	原田 明	1000	M35	安原 勝實	1000	M41	相本 雄二	1000
M24	和泉 友晴	1000	M31	吉島 哲弘	1000	M35	常森 宣彦	1000	M42	福田 朗	1000
M24	国居 良夫	1000	M31	高山 興昇	1000	M35	丸山 和之	1000	M42	土谷 康夫	1000
M24	河野 知敏	1000	M31	中村 豊	1000	M35	中本 和彦	1000	M42	岩本 正幸	1000
M24	原田 泰	1000	M31	原田 靖國	1000	M35	田村圭史郎	1000	M42	福島 操	1000
M25	藤井 敏之	1000	M31	宮本 光泰	2000	M36	小川 博己	1000	M42	藤原 健次	1000
M25	清水 利治	1000	M32	佐古 馨	1000	M36	三原 一彦	1000	M42	大畠 範行	1000
M25	小林 正	1000	M32	金岡 国雄	1000	M36	村井 俊夫	1000	M42	柳原 正典	2000
M25	坂田 宗治	1000	M32	管 貞夫	1000	M36	畠山 栄	1000	M43	高畑 幸二	1000
M25	松本 輝之	1000	M32	和田吉三郎	1000	M36	搦本 政一	1000	M43	佐伯 純男	1000
M25	澄田 富男	1000	M32	吉村 良人	1000	M36	小野本 進	1000	M44	岩村 修	1000
M25	弘中 辰男	1000	M32	原田 利彦	1000	M36	藤本 旭	1000	M44	彦坂 俊昭	1000
M25	山田 實	1000	M32	網本 晴美	1000	M36	林 章雄	1000	M44	山根 岩夫	1000
M25	沖本 洋始	1000	M32	青木 健	1000	M36	浜田 孝	1000	M44	内富 新一	1000
M25	小林 徹	4000	M32	岡本 正啓	1000	M37	田村光之進	1000	M45	西岡 潤	1000
M26	中本 利和	1000	M32	岡村啓一郎	1000	M37	青木 哲郎	1000	M45	松原 時雄	1000
M26	木村 政美	1000	M32	藤中 健次	1000	M37	久本 徳夫	1000	M45	橋本 好博	1000
M26	河村 幸男	1000	M32	斉藤 正行	1000	M37	浜崎 康幸	1000	M45	梶田 伸雄	1000
M26	藤富 幹夫	1000	M32	林 通生	2000	M37	大畑 善宏	1000	M45	杉本 勝美	1000
M26	守富 慧	1000	M33	久芳 龍男	1000	M37	佐々木 具	1000	M47	徳吉 忠	1000
M26	松村 敏和	1000	M33	吉村昌三郎	1000	M37	山形 捷児	1000	M47	江嶋 龍夫	1000

卒年	氏 名	寄附額	卒年	氏 名	寄附額	卒年	氏 名	寄附額	卒年	氏 名	寄附額
M47	島崎 正利	1000	C28	寺田 幸生	1000	C35	梅本 貞則	1000	C45	河村 明美	1000
M47	三谷 義則	1000	C28	礪部 雅夫	1000	C35	岡本 正輔	1000	C45	反田 快舟	1000
M47	見月 真二	1000	C28	築山 昌史	1000	C35	藤井 克巳	1000	C45	中村 孝	1000
M47	松本 俊夫	1000	C28	時村 勝	1000	C35	宇智田俊一郎	1000	C47	山本 泉	1000
M47	笹瀬 泰男	3000	C28	清水 明彦	1000	C35	尾崎 肇	1000	C47	佐々木政司	1000
M47	辻井 悌	5000	C28	初岡 憲成	1000	C35	門坂 俊二	1000	C47	中本 友子	1000
M48	徳原 英昭	1000	C28	原田 金伝	5000	C35	田畑 幸彦	1000	C52	原田 光久	1000
M54	下村 孝宏	1000	C29	河村 正弘	1000	C35	藤村 和夫	1000	C61	田中耕一郎	2000
M54	矢野 茂興	1000	C29	山本 宜詮	1000	C35	山内 正行	1000	CH8	神田 保之	1000
M56	久野 茂雄	1000	C29	野田 光秋	1000	C35	山本 芳一	1000	CH13	山岡 幸宏	1000
M57	青木 義雄	1000	C29	中野 利明	1000	C35	松村 武士	1000	E38	小沢 学	1000
M59	近藤 敏正	2000	C29	石村 進	1000	C35	手嶋 正利	1000	E38	伊藤 雄三	1000
M61	中倉 清臣	1000	C29	清水 博晴	1000	C35	中村 巖	1000	E38	田中 昭夫	1000
M61	村瀬 俊治	1000	C29	有吉 安治	1000	C35	猫沖 眞治	1000	E38	石川 勝行	1000
MH13	矢野 力	1000	C29	岡 亮宏	2000	C35	中山 哲男	2000	E38	木原 典明	1000
MH15	打越勇喜夫	1000	C29	岩本 利彦	2000	C36	宮田 治美	1000	E38	田中 英征	1000
MH21	河添 幸次	2000	C30	長弘 智之	1000	C36	横道 忠	1000	E38	秋本 協徳	3000
MH23	田上 裕平	1000	C30	路 利彦	1000	C36	松村 豪夫	1000	E38	早川 昭男	5000
C2	西川 清	3000	C30	小川 清	1000	C36	山縣 峻	1000	E39	岡田 憲一	1000
C12	吉廣 嘉市	1000	C30	佐藤 義朗	1000	C36	清水 義晴	1000	E39	弘中 義彦	1000
C15	年光 盛人	2000	C30	戸崎 和夫	1000	C36	竹重 浩佑	1000	E39	小林 宏明	1000
C16	上田 健治	1000	C30	佐藤 通	1000	C36	松永 義則	1000	E39	小土井政夫	1000
C16	藤井 三好	1000	C30	渡邊 秀夫	1000	C36	守田 隆司	2000	E39	大木 望	1000
C16	奥野 耕平	7000	C31	武田 敏行	1000	C37	松村 昭憲	1000	E39	上田 順二	9000
C17	長井 稔	1000	C31	清水 元博	1000	C37	杉本 勝行	1000	E41	岸村 敬士	1000
C18	轟 渡	1000	C32	坂本 嗣昭	1000	C37	槻館 憲之	1000	E42	橋本 政行	1000
C18	山藤 朝之	1000	C32	石丸 顕郎	1000	C37	兼田 孝好	2000	E42	林 巧	1000
C18	高藤 広夫	1000	C32	小林 勝	1000	C37	藤井 正人	5000	E43	浅本 輝明	1000
C18	亀田 成文	2000	C32	福田 尚	1000	C37	中村 忠士	6000	E43	川村 満	1000
C20	棟近 利雄	1000	C32	河村 一	2000	C38	松野 瑞輝	1000	E43	中山 正三	1000
C20	大上 良一	1000	C32	宮本 圭子	2000	C38	関 信行	1000	E45	大柴 恭也	1000
C20	配川 敬典	1000	C33	日野 保恵	1000	C38	山本 一夫	1000	E45	内山 正也	1000
C20	瀬尾 進	1000	C33	椎木 五三	1000	C38	大田 克正	2000	E45	内山 節夫	1000
C20	廣中 典夫	2000	C33	高山 佳昌	1000	C39	藤田 文明	1000	E46	滝本 滝美	1000
C21	小川 馨三	1000	C33	萬徳 晴男	1000	C39	仁科 昭行	1000	E46	河野 武俊	1000
C21	尾本 文夫	1000	C33	藤井 敦	1000	C39	吉原 和弘	1000	E47	濱本 育芳	1000
C21	河村 俊次	1000	C33	坪本 英昭	1000	C39	藤井 幸雄	1000	E47	有森 浩	1000
C23	山本 正雄	1000	C33	井上 賢治	1000	C39	仁科 昭行	1000	E47	清水 高治	1000
C23	田丸 優佑	1000	C33	永瀬 幸子	2000	C39	山本 邦雄	1000	E47	松原 陽治	1000
C23	岩本 敏視	1000	C33	石川 達紘	10000	C39	宝迫 和美	1000	E47	市川 雅明	2000
C24	光野 正樹	1000	C34	松本 勇	1000	C39	高田 尚美	1000	E48	藤原 靖則	1000
C24	赤瀬 春之	2000	C34	野末 育利	1000	C39	藤本 光	2000	E52	重永 弘子	1000
C25	小笠原雄三	1000	C34	藤田 圭子	1000	C40	中村 道夫	1000	E55	実近 利和	1000
C25	山根 正美	1000	C34	奥野 勲	1000	C40	藤尾 澄人	1000	E56	藤沢 宏司	1000
C25	武居 博	2000	C34	入海 鉄男	1000	C40	貝塚 義博	1000	EH3	福田 稔	1000
C25	國永 忠士	1000	C34	伊藤 良美	1000	C40	酒井 光正	1000	EH5	近藤 誠	1000
C25	久行 昭治	1000	C34	高濱 照彦	1000	C40	竹内 公昭	2000	IH21	國弘 貴之	1000
C26	渡辺 英男	1000	C34	田浦 朝子	1000	C40	粕川 實則	2000	IH22	寶迫 政人	1000
C26	松村祥一郎	1000	C34	中原 悠紀	1000	C41	廣中 貞雄	1000	SH23	細田 堯宏	1000
C26	兼弘富士巳	1000	C34	義松 則行	1000	C41	小林 誠	1000	SH23	清水 史彦	1000
C26	中山 勲	1000	C34	大塚 強夫	1000	C42	福永知佐子	1000	T42	伊村 涉	1000
C27	橋本 睦治	1000	C34	小林 哲士	1000	C43	大木 信男	1000	T42	大島 裕治	1000
C27	松村 寅彦	1000	C34	福田 護	1000	C43	山本 清二	2000	T44	藤森 友則	1000
C27	山本 喜宜	1000	C34	足立恵美子	1000	C44	進賀 輝夫	1000	T45	佐古 勝文	1000
C27	武居 英雄	2000	C34	橋本 英子	1000	C44	松嶋 隆博	1000	T46	三戸 七郎	1000
C27	大木 正徳	2000	C34	佐伯 昇	1000	C44	大下 道則	1000			
C28	弘実 法造	1000	C34	西川 光昭	2000	C44	石田 和久	2000			
C28	田中 忠	1000	C35	甲村富士男	1000	C44	浅原 由夫	2000			

社会人になって思うこと

IH24 吉岡 望

私は現在、株式会社日立ハイテクノロジーズのHMS/Dセで現場実習を行っています。Dセというところは、工場内に大量に運ばれてきた部品の着荷検収から、現場への部品投入までを行っています。着荷検収された部品は、検査が必要なもの、洗浄が必要なものなどに分かれ、仕分棚に運びます。仕分棚では検収を終えた部品の情報を読み取り、部品を装置の種類毎に分けます。ある程度部品が揃ったら現場投入します。また装置に必要なエア配管下拵え作業もDセで行います。私はこのDセで4週間実習を行ってきたのですが、私なりに社会人になって思うことは、日々のノルマをきちんとこなすということです。日立ハイテクノロジーズでは装置毎に細かく日々のノルマが決められています。ですがそのノルマは現場で製作する、装置の投入のノルマなので、当たり前ですがそれよりもっと早くに部品を現場に投入しなければいけません。部品投入が遅れると、現場の人が部品を取りにこられたりと迷惑をかけてしまいます。Dセが動かないと現場も動けないので、ノルマは一番守らないといけないなと思いました。Dセでの実習は残り一週間ですが、もっと作業効率の良い方法を考えて、少しでもDセの役にたつようにと、また自分のためになるようこれから努力していきたいです。

MH24 岩本 翔太

私が社会人になって思った事は三つあります。

一つ目は、同じ新入社員でも、様々な考えを持った人が居るという事です。一つのテーマに対して議論をする際に、自分の思った事、感じた事と他の人の意見が違うことがありました。自分とは違った視点で物事を考えているので、テーマについてより深く議論する事ができ、またその人の意見を尊重する大切さも同時に学びました。

二つ目は、学生と社会人では、責任の重さが違うという事です。社会人になると、自分の行動には、しっかり責任を持たなければならず、自分が間違いを犯してしまえば、上司にも、会社にも迷惑がかかる事を学びました。自分がする行動が正しいかどうかや、人に迷惑がかからないか等、常に考えて行動をしなければならないと思いました。

三つ目は、自ら学ぶという事です。学校とは違って、分からない所をそのままにはいけないという事を知りました。何も分からないまま作業が続けると、上司の思っているアウトプットとは違う結果になってしまいます。なので、分からないと思った事はすぐに聞いて、自分で納得してから作業をする事が大切だと思いました。

CH24 久保田 慎

今年の春、私も社会人の仲間入りをしました。私は、株式会社トクヤマの化成第一製造部第三課に配属されました。今はまだ配属されたばかりで、戸惑うことが多いのですが上司や先輩方から教えていただくことを一つ一つ覚えていき早く一人前のプラント運転員になりたいと思っています。

私は化学工業科出身なので、これまで学んできたことを活かしていきたいと思っています。これから幅広い年代の人と一緒に仕事をしていくので、コミュニケーションをとっていききたいです。コミュニケーションをとることによって職場環境が良くなっていき、チームワークや協調性を高めることができると思います。新入社員らしく大きな声で元気よく挨拶をしようと思います。

私が配属された部署は、一番覚えることが多く大変ですが、それは逆に考えると会社で重要なプラントの運転管理を任されたことなので、責任感とやりがいがあります。プラントは高圧ガスやボイラーなどの資格が必要なので、資格取得に取り組んでいこうと思います。もう学生ではないので、社会人として自分のした行動や発言には気をつけたいと思います。入社した際に掲げた初心も忘れることなく行動していきたいです。私の部署は同期のメンバーがいるので切磋琢磨し合い、自分自身の能力を成長させていこうと思っています。安全第一で怪我をすることなくこれから精進していきたいです。

M4H24 長棟 美幸

2012年春、下松工業高等学校定時制機械科を卒業した私は1966年生まれ。娘の不登校をきっかけに、私は新入生として、娘も2年次に編入することになりました。その後、娘は他校にまた編入し、1年早く卒業。宇部市で事務職員として働いています。

私は下工に入学するまでは、職場と娘が人生の全てでした。しかし、下工に入学し多くの先生方や、生徒達と語り、学んだことは別の社会への登入口でした。

そして卒業後は、聴講生として、4年次の課題研究を、後1年続けることにしました。それから、放送大学の選科履修生として一年間学んでみようと思います。地区のコミュニティ推進委員にもなりました。スポーツクラブにも入りました。

この前、コミュニティの役員会がありました。皆活発に、意見を交換していました。誰かが問題点を発言すると、すぐに、誰かがその問題を解決する提案があります。私は、なるほどと思い「賛成」と言いましたが、他の人がすぐに問題点を指摘します。私は、まだまだ修業が足りないなと思います。

今までの私は、狭い社会の中で生きてきたのだと思い知らされました。これからも色々なことを見聞きし、社会にとって必要な人材になれるよう、遅ればせながら頑張っていきたいと思っています。

謹んでご冥福をお祈りいたします

社団法人 下松工業会

(平成23年度会報No.42号記載以降
事務局に連絡があった方のみ)

正会員物故者

卒 年	氏 名	住 所
M7	重永 寅	周南市
M11	末次 吉郎	周南市
M12	藤井 義雄	周南市
M15	都築 俊一	山口市
M15	平岡 勝人	岩国市
M15	松嶋 勝	下松市
M16	沢井 義明	和木町
M16	高橋 幸男	光市
M17	河村 央	光市
M17	安永 惣一	光市
M18	小川 秀雄	防府市
M23	須郷 均二	加古川市
M25	藤井 敏之	下松市
M26	有吉 弘臣	福岡市
M26	土田 義明	下松市
M26	藤井 實	防府市
M27	浅田 勇	清瀬市
M27	福田 善美	周南市
M27	藤田 利二	周南市
M29	中野 政次	横浜市
M32	国本 忠利	船橋市
M33	山崎 利彦	君津市
M34	長井 紀人	田布施町
M34	原田 正信	八千代市
M35	河村 常夫	下松市
M35	福田清次郎	光市
M36	黒田 基	綾瀬市
M37	窪田 史郎	姫路市
M39	小田 誠	光市
M40	大竹 静雄	神栖市
M42	橋本 和美	那須塩原市
M47	武末 英晴	下松市
C10	荒川 和夫	名古屋市
C11	清永 正己	光市
C12	吉廣 嘉市	周南市
C15	玉井 邦夫	岩国市
C16	高橋 玄	光市
C19	西本 忠義	岩国市
C19	広末 昭作	周南市
C19	山口 公彰	周南市

卒 年	氏 名	住 所
C20	藤田 茂喜	岩国市
C22	森 正昭	各務原市
C25	河村 邦彦	八幡市
C25	松村 隆	下松市
C26	相本 卓次	周南市
C26	藤田 優	本庄市
C27	武居 康二	仙台市
C27	野田 正	下松市
C27	安弘 公彦	渡佐見町
C28	岡村 行雄	下松市
C28	木村 卓郎	下松市
C29	阿川 悟	防府市
C29	澄田 久	田布施町
C29	深尾義一郎	光市
C31	小川 洋	高槻市
C31	武居 秀夫	上牧町
C32	毎田 俊美	下松市
C33	上田 敬正	下松市
C33	長岡 一郎	市川市
C33	西本 慶二	北九州市
C35	白倉 稔久	光市
C35	中村 光延	防府市
C35	松野 哲夫	館山市
C38	田中 功	取手市
C40	中村 徹雄	杉並区
E42	三奈木正幸	下松市
E46	藤本 康弘	姫路市

特別会員物故者		
	氏 名	住 所
事務	戸倉 武司	周南市
電気	石田 啓	周南市
電気	白石 武彦	光市
社会	河村 芳信	下松市
機械	水木 宏二	周南市

褒章おめでとうございます

瑞宝中綬章（文部科学省）

M27 田村 英之 九大名誉教授

瑞宝双光章（法務省）

C34 橋本 英子

事務局からのお知らせ

平成25年度定時総会

と き 平成25年 5月18日(土) 午後1時～
と ころ 下松市大字豊井1247番地 (下松駅南)
会 場 きらぼし館 (きらぼしホール)
多数の参加をお待ちしています。

第20回七彩会ゴルフ大会ご案内

日 時 平成24年10月10日(水)
会 場 中須ゴルフ倶楽部
スタート アウト・イン 8時33分 (20組)
参 加 費 3,000円
競技方法 ダブルペリア方式

七彩会麻雀大会

日 時 平成25年 2月上旬
会 場 下松工業会館
会 費 2,000円

七彩会ボウリング大会

日 時 平成25年 3月上旬
会 場 くだまつボウリングセンター
会 費 1,000円 (くつ代自己負担)

*ゴルフ・マージャン・ボウリングに参加希望の方は事前にご連絡ください。詳しいご案内をいたします。

平成24年度就任支部長

日本ゼオン支部	CH4	古賀 玉祥
宇部興産機械支部	MH5	小川 誠
JX日鉱日石エネルギー支部	C48	吉国 進
出光興産徳山支部	M51	岡田 光輝
下松支部長	C28	弘実 法造

お願い

母校創立90周年記念事業年の募金活動(平成23年9月30日で終了)への暖かいご理解とご支援頂き、目標に達成できましたこと、衷心より御礼申し上げます。また、運営基金・年会費につきましては引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。また、年会費を個人・地域支部会員で前納されている方は年会費の欄を二重線で消していますが、失礼ですが、消し忘れがありましたら消してください。よろしくお願いいたします。

▼下記については事務局にご連絡ください。

1. 会員名簿の内容に変更がありました場合、姓・現住所の変更等必ずご一報ください。
2. 会員で叙勲及びこれらに準ずる受章(受賞)をされた方がありましたらご連絡ください。
3. 会員の方のご不幸がありましたらご連絡ください。
4. クラス名簿、支部別名簿、タックシールはすべて対応ができますので必要な場合はお気軽にお申し出ください。

クラス会や支部総会案内の作成、発送の事務も行いますのでご利用ください(但し、実費はいただきます)。

“勧誘・振込詐欺にご注意”

母校・同窓会等の名を借りた、振込詐欺・新聞広告や資格取得の勧誘或いは名簿作成、同窓会名鑑の企画と言って、母校・同窓会以外の不詳団体から、郵便、電話があると聞いております。電話での勧誘並びに、母校又は同窓会の署名(学校長又は会長名)のないものは一切受け付けないでください。

支部発足にご協力ください

下松工業会の充実を図るには地域の要になる支部の存在は不可欠です。下記地区で発足にご協力頂ける方は是非とも下松工業会事務局へご一報をお願いします。なお、何も下記地域に限定するものではありません。

岡山県、愛媛県、香川県、宇部市、山陽小野田市、下関市

お詫び

母校創立90周年のご芳志で、記載漏れ、氏名の誤記、に誤りありましたこと、事務局として衷心よりお詫び申し上げます。

M31 林 通正 ⇒ 林 通生 氏

M51 門川 光男 ⇒ 門川 光宏 氏

M20 大谷巖太郎 氏 母校創立90周年記念事業
寄附 平成19年・平成22年会報から記載漏れ

編集後記

会報は親しみやすく、読みやすいものにした
いと、そして一人でも多くの皆さんに登場して
頂きたいと思っています。会報の充実を図るた
めに皆様方からの多くの原稿(消息、トピッ
ス、エッセイ等)をお待ちしています。

事務局